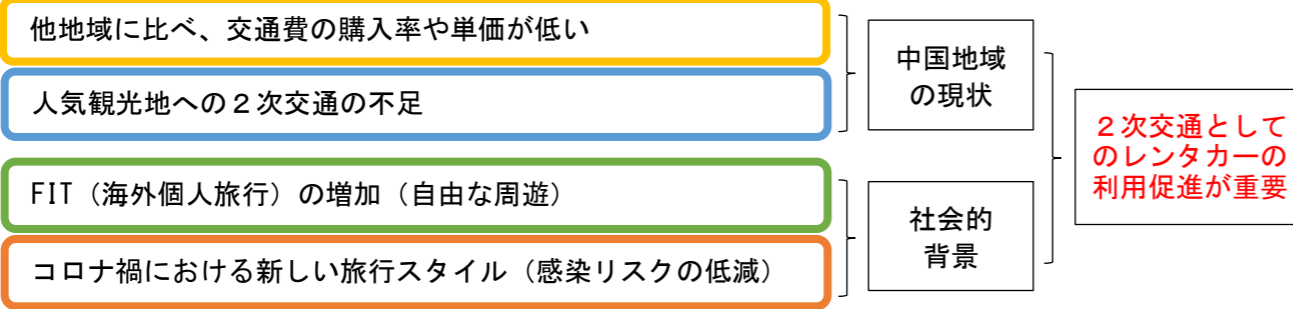


# 中国地域における広域周遊に資するレンタカーの利用促進に向けて

## 調査の目的 ～レンタカー利用促進の重要性～

自由な周遊を求める外国人観光客と親和性の高い交通手段であるレンタカーの利活用に焦点をあて、中国地域の現状と課題を把握した上で、レンタカーの利用促進に向けた方策について検討する。

### インバウンド観光におけるレンタカー利用促進の重要性



## 中国地域における外国人観光客に対するレンタカーの提供・利用促進に関する課題と他地域の参考となる取組

### アンケート調査

2020年2月に中国運輸局が実施したアンケート調査から得られた、中国地域におけるレンタカー事業者が直面している課題は、以下の3点に集約できる。

課題1 多言語による柔軟な対応	提案③・⑤
課題2 手続き時の円滑な対応（利用開始前）	提案③
課題3 トラブル発生時の対応（運転中・返却時）	提案③

### ヒアリング調査

本調査で実施した中国地域内事例調査から得られた、中国地域のレンタカー利用促進に関する課題は、以下の4点に集約できる。

課題1 広域周遊に向けた2次交通事業者および関係者の連携	提案①
課題2 外国人レンタカー利用者のデータの整備	提案②
課題3 外国人観光客のレンタカー利用者に対する交通ルールの周知徹底	提案③
課題4 道の駅の活用	提案④・⑥

近隣地域で先行した取り組みを行っている四国・九州地域における中国地域の参考となるレンタカー利用促進に関する取組は、以下の3点に集約できる。

参考となる取組1 地域内における関係者間の密な連携	提案①・③
参考となる取組2 外国人レンタカー利用者のデータ集約・分析・還元・活用	提案②
参考となる取組3 道の駅等のインバウンド対応	提案④・⑤

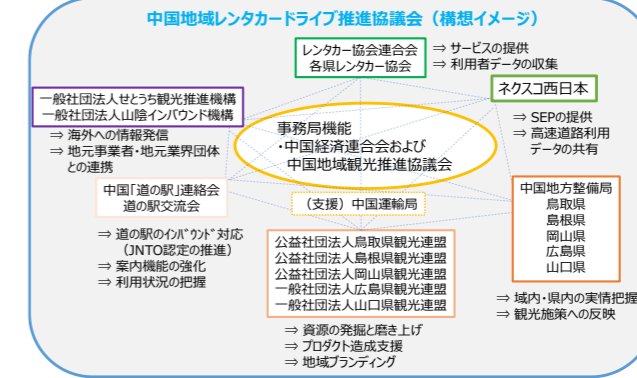
### 課題解決のヒント

## 中国地域における広域周遊に資するレンタカー利用促進に向けた方策提案

### 提案① 中国地域の関係者によるレンタカーの利活用を促進する推進基盤の構築

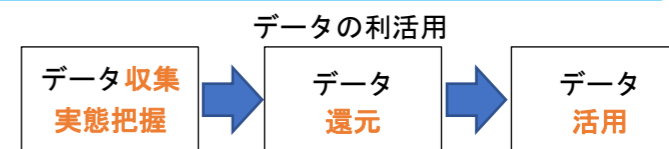
- 積極的な情報共有、役割分担、地域課題の共有、効率的な施策の検討に向けた推進基盤（協議会等）の構築が重要
- 協議会の構成は、行政機関（運輸局、整備局、県）、観光推進団体、レンタカー協会などを想定
- 新たな推進体制の設置が望ましいが、既存の枠組みの活用も視野に入れ、早急に対応すべき

### 推進基盤の構想イメージ



### 提案② 中国地域における外国人観光客のレンタカー利用の実態把握とデータの活用

- 上述の推進基盤は、データベースの構築（傾向把握）に取り組むとともに、関係者間で共有し、データに基づいた効果的な戦略を検討



### 提案③ レンタカー事業者のインバウンド観光客受入促進支援

- レンタカー事業者と上述の推進基盤が協力し、ドライブルールの周知徹底（ドライブマニュアルの整備、啓発活動等）、貸出手続きの円滑化支援（契約・保険内容説明資料の多言語化、緊急時のコミュニケーションツールの導入等）、国際免許証の見方マニュアルの作成（利用の多い国籍のサンプル集およびチェックポイントの作成）に取り組む

### 提案④ 旅ナカでの適切な情報発信

- 旅ナカでの情報収集の拠点となる「道の駅」および「SA」などのタッチポイントにおけるインバウンド対応を強化
- 地域の核となる重点「道の駅」を中心に、JNTO認定の「カテゴリー1」を目指す
- 長距離移動の拠点施設となる「SA」では「カテゴリー2」を目指す

### 提案⑤ 情報案内の多言語対応

- 域内での滞在時間の延長や消費の拡大には、観光情報や道路状況などを多言語で適切に発信できる環境を整備する
- 標識の多言語化は、可能な限り地域や各種施設の間で統一性・連続性を確保する

### 提案⑥ スマートIC等の活用環境の整備

- 滞在時間の延長を促すために、スマートインターチェンジの増設（情報収集が可能なSAやPAが併設しており、利用メリット大）と一時退出制度の拡大（観光地をじっくりと楽しめ、消費増加に期待大）

### 一時退出時間延長の事例

